

①財務状況を全般的に説明する資料

(1) 貸借対照表

貸借対照表

令和2年3月31日現在

資産の部

(単位：千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
<b>固定資産</b>	<b>(( 68,685,463))</b>	<b>(( 68,033,306))</b>	<b>(( 652,157))</b>
有形固定資産	( 46,725,672)	( 46,132,298)	( 593,374)
土地	15,508,599	15,444,133	64,466
建物	23,312,137	23,738,623	△ 426,486
構築物	559,797	506,262	53,535
教育研究用機器備品	5,343,021	5,151,178	191,843
管理用機器備品	281,633	333,515	△ 51,882
図書	909,474	897,820	11,654
車両	21,579	882	20,697
建設仮勘定	789,432	59,886	729,546
特定資産	( 21,820,730)	( 21,783,029)	( 37,701)
退職給与引当特定資産	4,830,997	4,836,494	△ 5,497
減価償却引当特定資産	16,803,324	16,760,261	43,063
大学移転寄付特定資金	24,993	17,497	7,496
大学奨学金特定資産	161,416	168,777	△ 7,361
その他の固定資産	( 139,062)	( 117,979)	( 21,083)
施設利用権	2,323	2,991	△ 668
ソフトウェア	15,057	8,686	6,371
収益事業元入金	52,070	52,070	-
長期貸付金	67,870	52,958	14,912
長期前払費用	1,515	1,065	450
敷金保証金等	227	210	17
<b>流動資産</b>	<b>(( 9,574,071))</b>	<b>(( 9,722,388))</b>	<b>(( △148,317))</b>
現金預金	4,104,388	4,063,935	40,453
未収入金	3,455,678	3,648,353	△ 192,675
貯蔵品	150,271	165,403	△ 15,132
短期貸付金	1,770,399	1,733,667	36,732
短期前払費用	92,905	110,979	△ 18,074
仮払金	430	51	379
<b>資産の部合計</b>	<b>78,259,535</b>	<b>77,755,694</b>	<b>503,841</b>

負債の部

科目	本年度末	前年度末	増減
<b>固定負債</b>	<b>(( 7,782,599))</b>	<b>(( 8,192,568))</b>	<b>(( △ 409,969))</b>
長期借入金	2,708,480	2,997,760	△ 289,280
長期未払金	237,080	352,272	△ 115,192
長期預り金	6,042	6,042	-
退職給与引当金	4,830,997	4,836,494	△ 5,497
<b>流動負債</b>	<b>(( 3,194,320))</b>	<b>(( 3,228,733))</b>	<b>(( △ 34,413))</b>
短期借入金	289,280	289,280	-
未払金	1,407,835	1,481,550	△ 73,715
前受金	1,291,667	1,227,118	64,549
預り金	205,538	230,785	△ 25,247
<b>負債の部合計</b>	<b>10,976,919</b>	<b>11,421,301</b>	<b>△444,382</b>

## 純 資 産 の 部

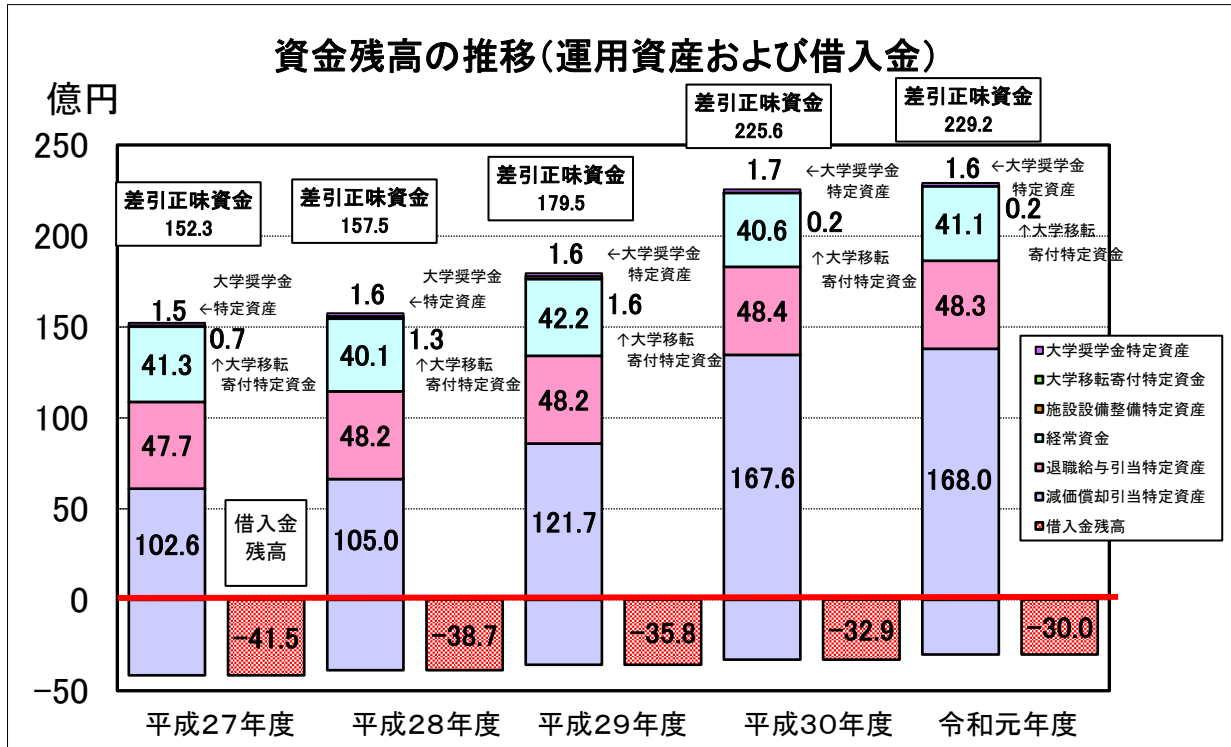
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基本金	(( 86,955,038))	(( 84,885,963))	(( 2,069,075))
第1号基本金	85,056,137	82,989,782	2,066,355
第4号基本金	1,898,901	1,896,181	2,720
繰越収支差額	((△19,672,423))	((△18,551,570))	(( △1,120,853))
翌年度繰越収支差額	△19,672,423	△18,551,570	△ 1,120,853
純資産の部合計	67,282,615	66,334,393	948,222
負債及び純資産の部合計	78,259,535	77,755,694	503,841

※科目ごとに千円未満で四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合がある。

対前年度比で、有形固定資産については、新しい千葉歯科医療センター建設工事費着手金の建設仮勘定などで約5億9,300万円増加した。特定資産は減価償却特定資産の増などで約3,800万円増加し、その他の固定資産と合わせて固定資産合計では、約6億5,200万円増加した。流動資産はやや減で、資産の部合計では、約5億400万円の増となった。一方、負債の部は、長期借入金や未払金の減少で固定負債、流動負債とも減少し、負債の部合計では、約4億4,400万円の減少となった。

学校法人の資金調達源泉を分析する純資産構成比率（純資産／（負債＋純資産））は、令和元年度は86.0%となり、前年度より0.7%増加した。負債の割合を見る総負債比率（総負債／総資産）は0.7%低い14.0%となった。

(2) 運用資産および借入金残高の状況



運用資産は、令和元年度決算では、特定資産・経常資金合わせて前年度より約7,800万円増の約259億2,500万円となった。日本私立学校振興・共済事業団と銀行からの借入金約29億9,800万円を除く差引正味資金は約229億2,700万円である。また大学移転寄付特定資産は約2,500万円となった。さらに、退職給与引当金の100%の額を退職給与引当特定資産として約48億3,100万円保持しているほか、大学奨学金特定資産として約1億6,100万円、減価償却引当特定資産として約168億300万円を保持している。

### (3) 収支計算書

#### 資金収支計算書

学校法人会計で資金収支計算書を作成する目的は、第一に当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容を明らかにすること、第二に当該会計年度での支払資金の収入と支出とその顛末を明らかにすることである。当該年度はもとより、前年度以前あるいは次年度以降の諸活動に関する資金も含め、当該会計年度の中で実際に動きのあった全ての支払い資金（現金預金）の収支の動きを明らかにするため調整項目を設けている。また、その他の収入・資産運用支出の科目は、繰り返し発生する年中の資金の出入りを総額で表示しているため大きな額となっている。

令和元年度の（収入の部）では、補助金収入で経常費補助金の増があり、対予算約7,900万円増となった。また、医療収入では千葉歯科医療センターが新センター移行への体制整備のため無床診療所となり減となったものの、市川総合病院、水道橋病院の収入増と合わせて、対予算では約4,500万円増、対前年度比では約4,700万円の増となった。雑収入の対予算増は、主に臨時的な退職者の退職金財団交付金の増によるものである。前受金収入は、大学・短期大学の令和2年度入学生からの学納金ほかである。その他の収入は、各特定資産からの繰入収入、前期末未収入金収入、貸付金回収収入などである。以上、収入の総額から資金収入調整勘定の期末未収入金・前期末前受金などを差し引いた収入の部小計は、約497億5,800万円となった。前年度繰越支払資金約40億6,400万円を加えた収入の部合計は、約538億2,200万円となった。

一方、（支出の部）では、臨時的支出増で人件費・管理経費で補正予算を組んだものの、人件費から資産運用支出まで対予算比減となった。施設関係支出が千葉校舎整備予算の一部が次年度持ち越しになるなどで対予算比約9億300万円の減、設備関係支出が対予算比約2億2,500万円の減である。資産運用支出は、退職給与引当特定資産への繰入支出・減価償却引当特定資産への繰入支出などを総額表示している。その他の支出は、貸付金支払支出、前期末未払金支払支出などである。

以上、支出総額から資金支出調整勘定の期末未払金等を差し引いた支出の部小計は、約497億1,700万円となり、支払資金約41億400万円が次年度へ繰越となった。

## 令和元年度 資金収支計算書

(単位:千円)

科 目	令和元年度予算	令和元年度決算	差 異	平成30年度決算	増 減
<b>(収 入 の 部)</b>					
1. 学生生徒等納付金収入	4,862,570	4,889,313	26,743	4,916,975	△27,662
2. 手数料収入	45,320	50,356	5,036	53,674	△3,318
3. 寄付金収入	54,400	62,432	8,032	93,230	△30,798
4. 補助金収入	965,010	1,044,570	79,560	1,112,477	△67,907
(国庫補助金収入)	(952,300)	(1,024,839)	(72,539)	(1,094,921)	(△70,082)
(地方公共団体補助金収入)	(10,310)	(17,831)	(7,521)	(17,156)	(675)
(学術研究振興資金収入)	(2,000)	(1,500)	(△500)	(-)	(1,500)
(若手・女性研究者奨励金収入)	(400)	(400)	(-)	(400)	(-)
5. 資産売却収入	-	-	-	1,680,000	△1,680,000
6. 付随事業・収益事業収入	576,200	599,766	23,566	621,034	△21,268
7. 医療収入	20,418,270	20,462,968	44,698	20,415,883	47,085
8. 受取利息・配当金収入	4,410	4,376	△34	4,625	△249
9. 雑収入	769,820	786,861	17,041	835,747	△48,886
10. 借入金等収入	-	-	-	-	-
11. 前受金収入	1,233,040	1,278,153	45,113	1,227,085	51,068
12. その他の収入	35,921,370	25,248,393	△10,672,977	27,006,189	△1,757,796
13. 資金収入調整勘定	△4,720,840	△4,669,327	51,513	△5,087,891	418,564
小 計	60,129,570	49,757,862	△10,371,708	52,879,028	△3,121,166
14. 前年度繰越支払資金	4,019,090	4,063,935	44,845	4,225,134	△161,199
収入の部合計	64,148,660	53,821,797	△10,326,863	57,104,163	△3,282,366
<b>(支 出 の 部)</b>					
1. 人件費支出	13,070,640	12,535,352	△535,288	12,390,484	144,868
2. 教育研究経費支出	8,853,330	8,811,206	△42,124	8,511,818	299,388
3. 管理経費支出	3,065,360	2,729,255	△336,105	2,401,807	327,448
4. 借入金等利息支出	22,500	22,489	△11	24,552	△2,063
5. 借入金等返済支出	289,280	289,280	-	289,280	-
6. 施設関係支出	3,040,620	2,137,622	△902,998	789,265	1,348,357
7. 設備関係支出	1,528,230	1,303,615	△224,615	847,005	456,610
8. 資産運用支出	29,765,080	21,631,686	△8,133,394	27,610,305	△5,978,619
9. その他の支出	1,624,170	1,684,261	60,091	1,644,816	39,445
10. [ 予 備 費 ]	(7,010)	-	-	-	-
	283,420	-	△283,420	-	-
11. 資金支出調整勘定	△1,419,050	△1,427,357	△8,307	△1,469,106	41,749
小 計	60,123,580	49,717,409	△10,406,171	53,040,227	△3,322,818
12. 次年度繰越支払資金	4,025,080	4,104,388	79,308	4,063,935	40,453
支出の部合計	64,148,660	53,821,797	△10,326,863	57,104,163	△3,282,366

※科目ごとに千円未満で四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合がある。

## **事業活動収支計算書**

令和元年度決算での教育活動収支差額は、約8億5,500万円の黒字で、教育活動外収支を含めた経常収支差額も約12億8,300万円で、対予算比で黒字増となっている。特別収支も含めた基本金組入前当年度収支差額は約9億4,800万円で、補正後の対予算で約13億9,500万円の増となった。教育活動収支差額・経常収支差額・基本金組入前当年度収支差額とも黒字となっている。

令和元年度の事業活動収入計は約279億1,200万円で、予算より約2億500万円増となった。学生生徒等納付金、経常費等補助金、医療収入、収益事業収入の増などが主な要因である。

一方、事業活動支出計は約269億6,300万円となり、補正後の予算より約11億9,000万円の減となった。医薬品の使用増などで<医療経費>が約3億4,300万円の増となったものの、人件費から管理経費まで予算内の執行となった。

基本金組入額合計は、千葉歯科医療センター建設工事建設仮勘定などで、約21億3,100万円を計上した。第1号基本金組入額は、新たな固定資産の取得額から本年度の除却および廃棄する固定資産の額を差し引いた額を組み入れた。第4号基本金組入額は、恒常的に保持すべき資金を組み入れた。基本金取崩額は約6,200万円を計上した。

令和元年度 事業活動収支計算書

(単位:千円)

科 目		令和元年度予算	令和元年度決算	差 異	平成30年度決算	増 減	
教育活動収入の部	1. 学生生徒等納付金	4,862,570	4,889,313	26,743	4,916,975	△27,662	
	2. 手数料	45,320	50,356	5,036	53,674	△3,318	
	3. 寄付金	48,400	58,039	9,639	77,645	△19,606	
	4. 経常費等補助金	964,240	1,006,690	42,450	1,086,336	△79,646	
	(国庫補助金)	(951,530)	(986,959)	(35,429)	(1,068,780)	(△81,821)	
	(地方公共団体補助金)	(10,310)	(17,831)	(7,521)	(17,156)	(675)	
	(学術研究振興資金)	(2,000)	(1,500)	(△500)	(-)	(1,500)	
	(若手・女性研究者奨励金)	(400)	(400)	(-)	(400)	(-)	
	5. 付随事業収入	162,030	153,338	△8,692	172,649	△19,311	
	6. 医療収入	20,418,270	20,462,968	44,698	20,415,883	47,085	
	7. 雑収入	769,110	781,472	12,362	829,480	△48,008	
	<b>教育活動収入計</b>	<b>27,269,940</b>	<b>27,402,177</b>	<b>132,237</b>	<b>27,552,643</b>	<b>△150,466</b>	
	事業活動支出の部	1. 人件費	13,034,450	12,529,855	△504,595	12,403,364	126,491
		2. 教育研究経費	11,072,950	11,028,318	△44,632	10,658,737	369,581
<教育研究経費>		<5,361,130>	<4,972,633>	<△388,497>	<4,892,344>	<80,289>	
<医療経費>		<5,711,820>	<6,055,686>	<343,866>	<5,766,393>	<289,293>	
3. 管理経費		3,328,310	2,986,399	△341,911	2,785,881	200,518	
4. 徴収不能額等	10,230	2,398	△7,832	2,522	△124		
<b>教育活動支出計</b>	<b>27,445,940</b>	<b>26,546,970</b>	<b>△898,970</b>	<b>25,850,504</b>	<b>696,466</b>		
<b>教育活動収支差額</b>	<b>△176,000</b>	<b>855,207</b>	<b>1,031,207</b>	<b>1,702,139</b>	<b>△846,932</b>		
教育活動外収入の部	1. 受取利息・配当金	4,410	4,376	△34	4,625	△249	
	2. その他の教育活動外収入	414,170	446,428	32,258	448,385	△1,957	
	<b>教育活動外収入計</b>	<b>418,580</b>	<b>450,804</b>	<b>32,224</b>	<b>453,010</b>	<b>△2,206</b>	
	1. 借入金等利息	22,500	22,489	△11	24,552	△2,063	
	2. その他の教育活動外支出	220	175	△45	78	97	
<b>教育活動外支出計</b>	<b>22,720</b>	<b>22,664</b>	<b>△56</b>	<b>24,630</b>	<b>△1,966</b>		
<b>教育活動外収支差額</b>	<b>395,860</b>	<b>428,139</b>	<b>32,279</b>	<b>428,380</b>	<b>△241</b>		
<b>経常収支差額</b>	<b>219,860</b>	<b>1,283,346</b>	<b>1,063,486</b>	<b>2,130,520</b>	<b>△847,174</b>		
特別収入の部	1. 資産売却差額	-	-	△0	1,493,680	△1,493,680	
	2. その他の特別収入	18,570	58,645	40,075	62,675	△4,030	
	<b>特別収入計</b>	<b>18,570</b>	<b>58,645</b>	<b>40,075</b>	<b>1,556,354</b>	<b>△1,497,709</b>	
	1. 資産処分差額	300,130	250,857	△49,273	306,389	△55,532	
	2. その他の特別支出	143,500	142,913	△587	5,260	137,653	
<b>特別支出計</b>	<b>443,630</b>	<b>393,769</b>	<b>△49,861</b>	<b>311,650</b>	<b>82,119</b>		
<b>特別収支差額</b>	<b>△425,060</b>	<b>△335,124</b>	<b>89,936</b>	<b>1,244,705</b>	<b>△1,579,829</b>		
[予備費]	(7,010)						
	241,470		△241,470				
<b>基本金組入前当年度収支差額</b>	<b>△446,670</b>	<b>948,222</b>	<b>1,394,892</b>	<b>3,375,224</b>	<b>△2,427,002</b>		
<b>基本金組入額合計</b>	<b>△3,435,320</b>	<b>△2,131,088</b>	<b>1,304,232</b>	<b>△340,267</b>	<b>△1,790,821</b>		
<b>当年度収支差額</b>	<b>△3,881,990</b>	<b>△1,182,866</b>	<b>2,699,124</b>	<b>3,034,957</b>	<b>△4,217,823</b>		
<b>前年度繰越収支差額</b>	<b>△19,143,990</b>	<b>△18,551,570</b>	<b>592,420</b>	<b>△23,494,427</b>	<b>4,942,857</b>		
<b>基本金取崩額</b>	<b>501,430</b>	<b>62,013</b>	<b>△439,417</b>	<b>1,907,900</b>	<b>△1,845,887</b>		
<b>翌年度繰越収支差額</b>	<b>△22,524,550</b>	<b>△19,672,423</b>	<b>2,852,127</b>	<b>△18,551,570</b>	<b>△1,120,853</b>		
(参考)							
<b>事業活動収入計</b>	<b>27,707,090</b>	<b>27,911,626</b>	<b>204,536</b>	<b>29,562,007</b>	<b>△1,650,381</b>		
<b>事業活動支出計</b>	<b>28,153,760</b>	<b>26,963,404</b>	<b>△1,190,356</b>	<b>26,186,783</b>	<b>776,621</b>		

※科目ごとに千円未満で四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合がある。